

証券市場新聞

1 第77号

日経平均株価

1万9445円70銭

▲135円18銭 (前日比)

TOPIX

1550.30

▲10.53 (前日比)

2017

5/8

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



抜本的改革へ動く宅配業界

アマゾンで商機拡大するファイブズ

人手不足で労働環境悪化が深刻化する宅配業界は抜本的な改革へ向け動きだしている。ヤマトホールディングス(9064)傘下で宅配便大手のヤマト運輸は27年ぶり値上げに踏み切ることがすでに伝えられている。値上げで従業員の待遇改善やコスト減に取り組む企業がある一方で、宅配に新たな仕組みを採り入れることで、効率化を進める企業もある。これら改革への取り組みが中長期的な利益貢献になるが注目されそうだ。

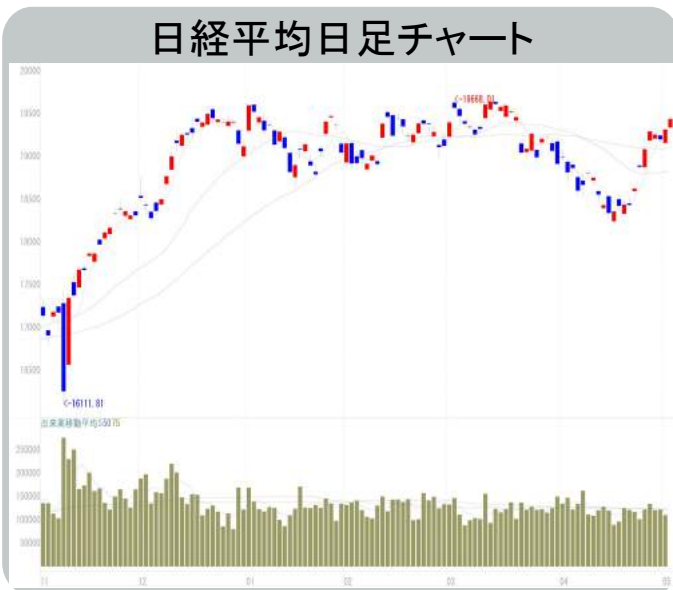
ホンダと郵政の連携も

他の宅配企業も値上げに追随する可

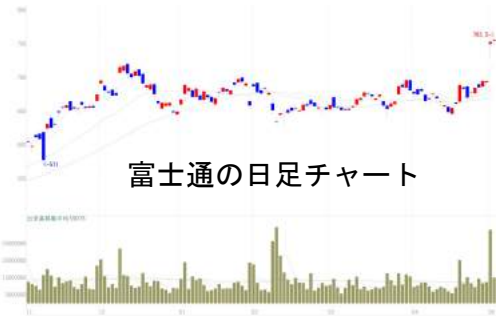
27年ぶりとなる「ヤマト運輸の値上げ」は9月に基本運賃で最大20%程度の引き上げで最終調整していることが伝えられた。値上げで得た資金を労働環境の改善やサービスの原資に充てるとして、最

大手が値上げに踏み切ることで、

能性がある。今回の宅配業界の危機が問題となった。キッカケが通販の世界的企業であるアマゾンの取り扱量の多さで、ヤマト運輸がアマゾンの当日配送サービスから撤退するといった報道も話題になった。アマゾン自体も物流体制を拡充・改革する必要に迫られており、アマゾンの物流拠点業務を請け負うファイブズ(9325)のビジネスチャンス拡大が取り沙汰されている。一方、宅配自体に新たな技術を採用される動きもある。日本郵政(6178)と傘下の日本郵便はホンダ(7267)と



電動二輪車分野で提携することを発表している。この提携では電動二輪車の導入や充電インフラの普及に加えてスマートフォンやタブレット端末などから車両の位置情報をGPSで把握し、走行履歴などを管理するシステムの導入も進める。走行履歴を分析することでより効率的な宅配を目指す方針で、今後は業界の垣根を超えた提携も進む可能性がある。



富士通の日足チャート

富士通大幅高で新値

18年3月期58%営業増益見込む

1日、富士通(6702)が大幅高で約1カ月ぶりに年初来高値を更新した。18年3月期の連結業績で、営業利益1850億円(前期比57.5%増)と大幅増益を見込んだことを好感した買いを集めた。

今週の動意銘柄

前期にビジネスモデル変革費用420億円を計上していたことに加え、テクノロジーソリューションが大幅な増益になる見込み。為替は1ドル1105円、1ユーロ1115円を前提にしている。

セールン失望売り

1日、セールン(3569)が大幅安。18年3月期の連結業績は売上高1100億円(前期比

1・8%増)、経常利益94億円(同8.6%減)と増収減益を見込んだことが失望売りを誘った。17年3月期は車両資材とエレクトロニクス

の好調で、経常利益102億8200万円(前の期比17.2%増)と大幅増益で最高業績を更新したが、今期は慎重に見積もった。株価は一段の業績拡大期待で、前週末まで年初来高値圏で推移していた。

東エレ値飛ばし高値

今期37%経常増益で大幅増配へ

1日、東京エレクトロン(8035)が値を飛ばし、3日ぶりに年初来高値を更新した。18年3月期の連結業績は、売上高9800億円(前期比22.5%増)、経常利益2160億円(同37.1

%増)と大幅増収増益を見込み、年間配当を497円(前期352円)へ引き上げたことを受け、買い気が盛り上がった。主力の半導体製造装置が引き続き好調で、FPD製造装置も大型パネル向けを

ソニー73%増益

1日、ソニー(6758)が切り返した年初来高値を更新。18年3月期の連結業績で、営業利益5000億円(前期比73.2%増)と大幅増益を見込んだことがサプライスとなった。為替は1ドル1105円、1ユーロ1110円を前提にしている。

ローム19%営業増益

1日、ローム(6963)が後場から買われ年初来高値を更新した。

Karmaの杖

連休明けは短期調整局面も

2日の東京市場は終日堅調で、日経平均は前日比135円高で引けました。為替は3月21日以来の112円台に入っています。ドル・円のフシ目としては、75日移動平均線が走る112・30円、次は26週線の113・30円付近で、一目均衡表の雲が目途になります。連休の谷間ながら、円安と好調な企業業績を支え、企業業績を支えるに堅調で、コク中にFOMCや米雇用統計などの重要経済指標発表があるもの、今後に期待をつなぐかたちとなりました。

ただ、一段高局面を迎えるようなら、一旦利益を確定するのがベターでしょう。テクニカルは目先円高反転を示唆しており、短期的な調整を迎える可能性があるからです。また、ランプ相場がスタートして半年を経て、高値期日を迎える銘柄が増えることにも注意が必要で、連休中は筆者もチャートと睨めっこになります。



沙門雲海

この日、18年3月期の連結業績予想を発表、売上高は3680億円(前期比45%増)、営業利益は380億円(同19.4%増)、純利益は280億円(同5.9%増)と営業利益で2ケタ増益を見込んでいます。自動車の市場・産業機器関連市場で自動車の電子化やIoTの進展などが進むことから、高付加価値製品の開発とタイムリーな市場への投入に取り組んでいく。

転ばぬ先のテクニカル

正念場の週

先週の日経平均は3週続伸となりました。過去の累積売買代金123兆円の大きな壁をジリジリと登ってきました。そして1~3月のレンジ上限に近づいてきました。

13週線を回復し、5陰連の起点高値(1万9633円)をうかがう展開です。

ここを抜ければ一目均衡表・週足の雲が捻れる4週間後までの上昇が考えられます。逆もまた真なりで、抜けないならば、4週間の振れに向けた下落もありえます。

そういう意味で、今週は正念場の週ということになりましょう。

今週は約2050社もの決算が集中する週でもあり、個別対応が求められます。

日々勇太郎



た。感とげ引円期円計加6別円想従修配
さがるき)12(18え円にの来正、
れ好こ上に前たを当特12予括

中国、欧州を中心に
見込んだことを好感
てピーク利益更新を
%増)と前期に続い
85億円(同9・5
%増)、営業利益4
億円(前期比4・6
績は売上高4270
18年3月期の連結業
前日取引終了後、
昇率は17%を超えた。
951)が続騰、上
2日、ヤマハ(7

キリン堂が続伸
2日、キリン堂ホ
ールディングス(3
194)が続伸。傘
下のキリン堂を通じ
てメディアカルトラ

1日、あじかん
(2907)が続伸。
1日大引け後に17
年3月期の期末一括

18年3月期もピーク利益更新

ヤマハ上昇率17%超

した海外向けにアコ
ーティストやピアノ
など楽器やオーディ
オ販売が好調で、コ
ストダウン、経費削
減効果も収益を押し
上げる。

ト(大阪市北区)
を子会社化する
発表されたこと
感された。メ
カルトラストは、
関西地域で調剤
局4店舗を展開し
ており、関西地区
における調剤事業
の強化と地域に密
着した「かかりつ
け薬局」の拡充を
図る。

あじかん増配

今週のスケジュール

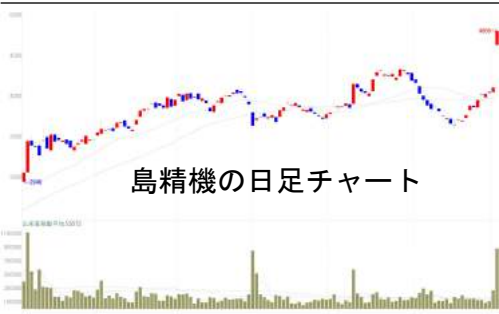
- 2日 米FOMC(〜3日)
- 3日 米4月ADP雇用統計(21:15)
米4月ISM非製造業景況指数(23:00)
- 4日 米3月貿易収支(21:30)
- 5日 米4月雇用統計(21:30)
- 7日 フランス大統領選挙決選投票
- 8日 4月消費者態度指数(14:00)
中国4月貿易収支
- 9日 3月毎月勤労統計調査(9:00)
韓国、前大統領の罷免に伴う次
期大統領選挙の投開票日
- 10日 3月景気動向指数(14:00)
4月26・27日開催の日銀金融政
策決定会合の「主な意見」
中国4月消費者物価、中国4
月生産者物価(10:30)
- 11日 3月国際収支(8:50)
4月都心オフィス空室率(11:00)
4月景気ウォッチャー調査
G7財務相・中央銀行総裁会議
(〜13日イタリア)
- 12日 4月マネーストック
米4月小売売上高、米4月消
費者物価(21:30)

島精機S高で新値

今期49%増益見込み連続増配

増4190
益%5%
を見(増)
込み億(前
、大円(期
幅同)常
増49益
収・

島精機製 1日、
作所(6
222)
が連続
スト
高まで
われ約
カ月ぶ
に年初
新高値
18年新
月期年
業績は
上高は
業績は
167
167
3



の需要が拡大する。
コンピュータ横編機
やASEAN諸国で
た。バンングラデ
買気が盛り上がり
配を計画したことで
期45円)へ連続増
配を50円(前の
島精機製 1日、

損益を上昇、為替差損も
の遅れで製造コスト
一部製品の立ち上げ
ことが嫌気された。
万円の赤字)とした
期3億18億4000
7億7000万(前
下げ、最終損益3
10・7%増)に引き
85億00万(前
5700万(前
営業利益を229億
期連結業績を修正、
集計中の17年3月
安値に顔合わせした。
0)は続落、年初来
イスプレイ(674
1日、ジャパ
JDは前期赤字継

GMOPGはS高

不正アクセス調査報告書開示

1日、GMOPGの不正アクセス調査報告書を開示。これにより悪材料出尽くしの動きとなった。再発防止委員会では、短期及び中長期の技術的な防止策と、情報セキュリティに関する防止策を実施することを決定している。

日揮前3月期赤字拡大

1日、日揮(1963)が急落。17年3月期の連結予想を営業損益で95億円

の赤字から220億円の赤字(前の期496億6100万円)

の黒字)へ、最終損益を170億円の赤字から230億円の赤字に悪化した。

赤字(同427億9300万円の黒字)へ修正、赤字幅の拡大を嫌気した。中東の石油精製プラント建設工事や国内新規分野プロジェクトの採算が悪化した。

正直いさんの大判小判

2日の東京市場は続伸となりました。ヤマハや島精機が値を飛ばすなど物色の中心は好決算を発表した銘柄で、1ドル111円台後半での円の弱含みを背景にトヨタをはじめとした自動車や日立、東芝など電気セクターに輸出採算改善期待が高まり、メガバンクも底堅く推移しております。米雇用統計や仏大統領選など重要イベントを控えて、現状では、樂觀的が見方が広がり、週明けの先高期待から連意欲は強い状況均1万9500円を抜けてくるには更なる円安など且は弱含む動き週明けは8日に浜松ホトニクス(6965)、9日に三菱自動車(7211)、10日にダイキン工業(6367)が予定されており、これらの決算内容が注目されそうです。



花咲翁

上値追いへ材料待ち

先高期待から連意欲は強い状況均1万9500円を抜けてくるには更なる円安など且は弱含む動き週明けは8日に浜松ホトニクス(6965)、9日に三菱自動車(7211)、10日にダイキン工業(6367)が予定されており、これらの決算内容が注目されそうです。

今週の動意銘柄

5月20日(土)個人投資家向けセミナー in名古屋

主催：株式会社 IRTV 協賛：証券市場新聞

5月20日(土) 13:30~16:30 受付・開場13:00 参加料：無料 定員：150名

第1部 13:30~14:20 ラクーン
(3031：東証1部)

会場：今池ガスビル 7階「ダイヤモンドルーム」
〒464-0850 名古屋市千種区今池1-8-8 【TEL】052-731-7670

第2部 14:30~15:20 オウケイウェイヴ
(3808・名証セントレックス)

第3部 15:30~16:30 高野 恭壽(たかのやすひさ)氏の株式講演会



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。



交通：地下鉄 今池駅下車 10番出口直結
JR中央本線 千種駅より東へ徒歩約10分

今週の

活躍期待銘柄



クロスマーケ (3675)

リサーチ事業海外展開加速

クロス・マーケティング(3675)の株価は4月12日の537円を底に目立たぬながら、水準を切り上げる展開。4月4日の645円を指す動きを期待したい。

ネット市場調査を核にマーケティング分野で事業を展開。主力のリサーチ事業は国内で人件費増があるものの、消費財メーカーを中心に好調で、ITソリューション事業では15年9月に子会社化したJIN SOOFTWARE(現・クロス・ジェイ・テック)が戦力化、今17年12月期は通期連結営業利益で14億円(前期比4.3%増)を見込んでいる。

14年に株式を取得したKadenceグループとのシナジーを發揮し、アジア・海外への事業展開を加速、メデイカルリサーチやショッパリーリサーチなど新しいリサーチビジネス領域の拡大も目指す方針。(と)

新たな領域の拡大目指す



澤藤電機 (6901)

急落後本格反騰へ態勢整う

澤藤電機(6901)が本格反騰へ態勢が整った。6日連続ストップ高を交え急騰、3月30日に年初来高値1050円をつけたあと、信用規制もあって大幅に水準を切り下げたが、高値から半値以下に売り込まれ、週足で3月最終週に空けた500〜590円のマド埋めを完了、信用規制も解除され、今後は下げ幅に対する3分の1戻し670円から2分の1戻し765円を指す動きが期待される。

人気化のきっかけは岐阜大学と高効率水素製造装置を開発したことだが、実用化への期待は強い。世界で初めてプラズマメン

と高電圧電源で99.999%の高純度を達成、燃料電池自動車から産業用・家庭用燃料電池発電機など幅広い分野へ採用が有望。電装品の好調とコスト対策の進展で足元の業績も計画を上回って推移している。(先)

燃料電池、業績への期待も

※チャートは日足

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

名実ともに5月相場が始まりました。4月は北朝鮮情勢の緊迫感など地政学リスクの高まりで、日経平均は一時1万8200円台まで下落しましたが、その後は緊迫感もやや薄れ、ことやフランスの大統領選ではEU擁立派の勝利のメドが立つことに加え、企業業績、国内景気の堅調さなどの好材料が加わって急速に戻し、月初の水準を上回って終えま

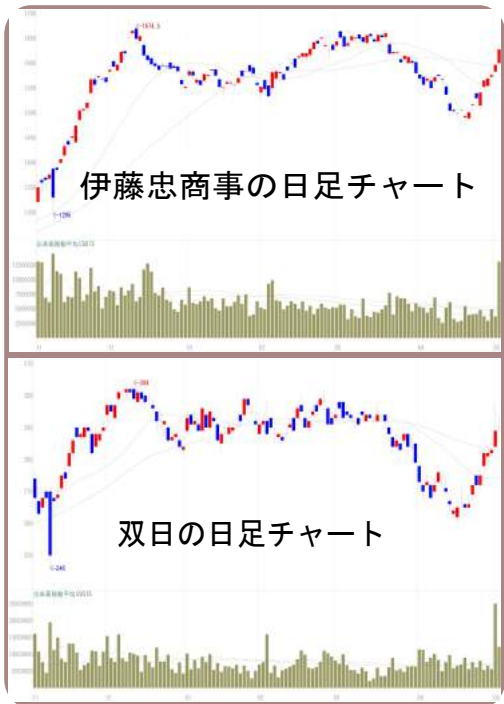
した。月末には上昇ピッチの速さを警戒し戻り待ちの売りなど小反落しましたが、現状の動きを見る限り下値の抵抗力もみ

好業績の値ガサ株が牽引

伊藤忠、増益予想の評価は?

先週末の米国株式が企業業績の好調さで高く始まった後、トランプ氏が「北朝鮮では大規模の紛争に発展する可能性がある」との発言から警戒感が台頭し、上げ幅を縮小しながらも小幅高を維持して終えています。そうした流れを受けて1日の日経平均は小幅安で寄り付きましたが売り一巡後には値ガサ系中心に戻す動きが強まり、日経平均はプラス圏に戻し、そのまま上げ幅を拡大させて26日の1万9289円を抜いて1万9310円台まで上げ、2日も続伸して引けています。東京エレクトロン(8035)やデイスコ(6146)、村田製作所(6981)、日東電工(6988)など半導体製造装置やスマホ関連の電機が大きく上げて日経平均をけん引しています。また、一貫推奨の富士通(6702)が前期に続いて今期も大幅増益を見込めることで年初来高値を更新しています。伊藤忠

商事(8001)も着実な上げ足をみせており、2日発表の今期増益予想が週明けにどう評価されるか注目です。今回の狙いは双日(2768)です。300円以下ならばぜひ拾うことです。中期的に400円まで買われることになりそうです。また、パナソニック(6752)も出番が近いとみられます。旭化成(3407)も動きはじめることに期待しています。商船三井(9104)は調整場面にあります。高野恭壽の株式市情報これでどや!!
高野恭壽の株式市情報
http://www.kabu-takano.com/
毎日情報を配信中!



星野三太郎の 株街往来

～ハードル高い働き方改革～

というのでその準備もあるわけだが、休日にもやるのが無いよりは忙しいほうが有難い。

一方、最近問題になっているのが政府の働き方改革の影響。弊社の場合は業務の性質上、取材とかを含めて9時～5時という決められた時間内で完結できないことが多く、数時間の休憩を挟むなどペース配分が重要になるが、大きな組織では残業規制の影響とかで、残業にカウントされない持ち帰り残業で疲弊する社員も多いそうだ。現在ではスカイプなどによるTV電話が可能で在宅勤務でも不自由ない時代だが、現実には定着する気配もなく、働き方改革の実現は厳しい。政府が主導しなくても企業の経営者が意識を持つことが重要だが、ヤマト運輸のようにあらゆる業態で大胆な見直しが必要になるだろう。



ゴールデン

ウィークといっても極めて少ないスタッフで運営しているの、サイトのメンテナンスとか決算に向けての書類整理（弊社は6月決算です）とか、普段は記事の執筆で手が回らない仕事をこの連休で片付けなければいけない。加えて普段、お世話になっている整体院の先生が本を執筆される



New product

住友ゴム サンド・マッドで優れた性能
モトクロス競技専用タイヤを発売

DUNLOP「GEOMAX MX12」



住友ゴム工業（5110）はサンド・マッド路面向けモトクロス競技専用タイヤDUNLOP「GEOMAX MX12」を4月25日から順次発売を開始した。発売サイズは、フロント1サイズ、リア2サイズで、価格はオープン価格。

「GEOMAX MX12」は、国内外のレースで培ったダンロップの最新テクノロジーで開発したモトクロス競技専用タイヤ。新パターンと新

タイヤ断面形状を採用することで、同社従来品から加速時のトラクション、コーナリング時のサイドグリップ、衝撃吸収性などを向上し、サンド・マッド路面において優れた性能を発揮する。対応車両は、250ccから450ccまでの競技車両。

再生医療で業務提携

日本トリム

医薬・医療関連機器のストレッチと

日本トリム（6788）は先進医療分野の戦略的持株会社であるトリムメデイカルホールディングスを通じて、医薬研究用機器及び医療関連機器の企画・開発・製造・販売を行うストレッチクス（大阪府中央区）と、資本・業務提携を行うことを発表した。

トリムメデイカルの子会社である、ステムセル研究所が有する臍帯血由来幹細胞の保管サービス（国内市場シェア約95%）のノウハウおよび十数年蓄積された品質管理体制

企業レター

と、ストレッチクスが有する再生医療、生殖医療分野での装置に関する豊富なノウハウを融合することで、再生・修復医療と生殖医療周辺の事業拡大を行なう方針。

再生医療周辺産業のうち、培養機器装置類の市場が半分近くを占めるため、今後、再生医療の実用化に伴い、ストレッチクスのエンドユーザーである病院や検査機関、企業向けの売り上げ拡大が期待され、独自性のあるストレッチクスのシステムについても、生殖補助医療市場の拡大に伴いさらに普及していくことが予想される。

チャートから読む 騰落銘柄

ハピネット (7552)



3月21日の年初来高値1878円を抜ければ14年8月11日の高値2371円までフシはない。玩具卸最大手で隠れた任天堂関連。5月12日の決算発表での今期予想に期待。

HIOKI (6866)



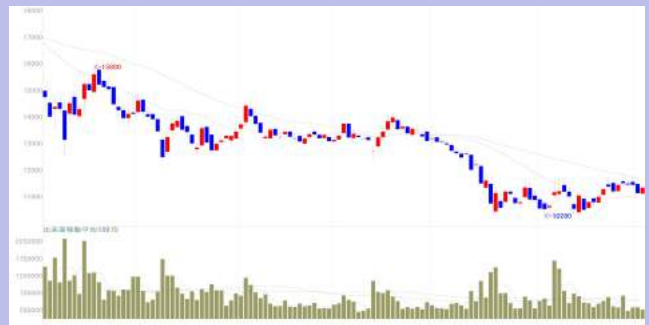
7連騰で4月12日の急落時に空けた2255~2143円のマド埋めを完了、フシ目の2200円台を回復したことで目先は目標達成感があるものの、月足は長い下ひげを引き、先高感強める。

トーエル (3361)



4月24日に954円まで戻すもその後は再度900円トビ台まで下落し弱い展開。5日移動平均は再び下向き、この水準を維持できなければ昨年11月9日の安値869円が意識される。

そーせい (4565)



戻り試すも上値は重い。日足陽転ながら日足一目均衡表雲下限に押し返されるかたちで停滞。13週移動平均と週足一目均衡表基準線に上値を抑えられ、中期下降トレンドを脱せず。調整長期化も。

※チャートは日足

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らたいたかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。